

忠魂碑

法隆寺管主 佐伯良謙 書

王寺町戦没者

忠魂碑

昭和二十九年十一月 建立

日露戦役以降 第二次世界大戦において
あまたの王寺町縁故の方々が
国難に殉じられました。

愛する故郷を思い 家族を案じながら
尊い命を捧げられた英霊のご遺徳を
永く追憶し 崇敬 報恩 慰霊の誠を捧げ
その事績を後世に伝えようと
忠魂碑が建立されました。

ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

在天の英霊

願わくは永遠の平和を

護らせたまわらんことを

平成二十六年 八月

王寺町遺族会



今日 八月十五日は、終戦から六十九年を迎えました。祖国のために尊い命を捧げられた

英霊の崇高なご遺徳を、後世に正しく継承していくことが私たちの使命であります。

同時に、今日の平和と繁栄の礎となられた英霊のご遺徳を偲び、報恩 慰霊の誠を捧げたいと思えます。

王寺町戦没者忠魂碑には、王寺町縁故の三一〇柱の方々の名を刻銘し、斉しくお祀りされています。この他にも、戦争の犠牲となられた方々がおられます。

忠魂碑創建から六十年を迎えますとき、その由緒を記した銘板を作製し、英霊顕彰の昂揚と慰霊に努めて参ります。

銘板の建立に際しましては、王寺町並びに達磨寺関係者の皆さまには、大変ご理解ご協力を賜り誠にありがとうございました。

町地域交流課観光振興係主任の岡島永昌さんには、銘文の監修をお願いしました。

銘板の作製設置には、タナカ石材 田中哲司さん（本町二丁目）をお願いしました。
絶大なご協力、ご支援、ご指導を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。

歴史的に貴重な由緒あります達磨寺境内に、英霊の鎮魂とその遺勳を記し、子子孫孫に継承されることを願いたします。

平成二十六年八月十五日

王寺町遺族会